

新型コロナウイルス感染症への都保健所の対応等 に関する市町村アンケート結果

アンケート調査内容

実施時期：令和4年12月

アンケート回答：都保健所管内の市町村 37自治体（回答率 100%）

【対象 37自治体】

西多摩保健所管内（8）：青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町

南多摩保健所管内（3）：日野市、多摩市、稲城市

多摩立川保健所管内（6）：立川市、昭島市、国分寺市、国立市、東大和市、武蔵村山市

多摩府中保健所管内（6）：武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、小金井市、狛江市

多摩小平保健所管内（5）：小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、西東京市

島しょ保健所管内（9）：大島町、利島村、新島村、神津島村、三宅村、御蔵島村、八丈町、青ヶ島村、小笠原村

調査項目：Q1～5をそれぞれ第1波から第5波（令和2年1月から令和3年9月頃）、第6波から第7波（令和4年1月以降）の2つの期間に分けて回答

Q1 都保健所の感染症対応で「課題と感じたこと」

Q2 都保健所から「提供して欲しかった情報」

Q3 市町村で実施した支援策

Q4 市町村で支援策を実施する（した）うえでの課題

Q5 都保健所の感染症以外の日常業務で「課題と感じていること」

Q1 都保健所の感染症対応で「課題と感じたこと」(第1波から第5波)

① 主な回答 (有: 28市町村 無: 9市町村)

○ 新型コロナ対応等に関する保健所と市町村間の情報共有 (7)

- ・ 圏域内において関係機関間の情報共有を行う仕組み、市町村間の情報共有が不十分であった
- ・ 保健所内の対応状況の共有(逼迫している業務の状況など)が不十分であった

○ 保健所からの新型コロナに関する情報提供 (7)

- ・ 国や都の対応等に係る情報伝達や通知文の発出にタイムラグが生じていた、報道が先行した
- ・ 住民対応に係るマニュアルやQ&A等の提供がなされず、職員の相談対応にばらつきが生じた
- ・ 市内の感染状況等が不明なままでは、住民対応や対策の検討が困難であった

○ 市町村からの問い合わせ・相談等への対応 (8)

- ・ 保健所の指導を仰ごうとしても、電話がつながりにくく、コンタクトが取りにくい状況であった
- ・ ピーク時は、市から保健所に電話がつながらない状態が続き、速やかな問題解決が困難であった

○ 患者対応・疫学調査等の遅れ等(施設指導、入院調整、自宅療養者支援等) (5)

- ・ クラスタが発生した高齢者施設や医療機関等に対する疫学調査に遅れが生じていた
- ・ 特に第5波の際は自宅療養者や待機者について連絡や食料等配送が遅延

○ 保健所の相談電話対応 (4)

- ・ 保健所の電話がつながらず、保健センターに電話が寄せられたが、保健所以上の情報もなく、対応に苦慮
- ・ 保健所だと思って市保健センターに問合せをしてくる件数が多かった

○ 保健所と市町村の役割分担・連携体制 (3)

- ・ 東京都・保健所と、市が行う業務(保健所を支援する取組み)の役割分担が不明確であった
- ・ 応援体制等、市との連携体制が不十分であった

Q1 都保健所の感染症対応で「課題と感じたこと」(第6波から第7波)

① 主な回答 (有: 24市町村 無: 13市町村)

○ 新型コロナ対応等に関する保健所と市町村間の情報共有 (3)

- ・ 圏域内において関係機関間の情報共有を行う仕組み、市町村間の情報共有が不十分であった
- ・ 保健所内の対応状況の共有(逼迫している業務の状況など)が不十分であった

○ 保健所からの新型コロナに関する情報提供 (5)

- ・ 国や都の対応等に係る情報伝達や通知文の発出にタイムラグが生じていた
- ・ テレビ報道が先行し、住民からの問い合わせに苦慮、最新の正しい情報提供をするために時間を要した

○ 市町村からの問い合わせ・相談等への対応 (2)

- ・ 電話連絡が困難な時期でも、メール等への返答などにより、当日中に連絡をしてほしかった
- ・ 電話がつながらず、市が探知した患者情報を迅速に提供できない懸念があった

○ 患者対応・疫学調査等の遅れ等(施設指導、入院調整、自宅療養者支援等) (4)

- ・ 自宅療養者への食料支援及びパルスオキシメーターの貸与等、保健所からの依頼により市職員が対応

○ 保健所の相談電話対応 (5)

- ・ 保健所の電話がつながらず、保健センターに電話が集中
- ・ 保健所と間違えて、保健センターへの苦情や問い合わせの電話が多発

○ 保健所と市町村の役割分担・連携体制 (1)

- ・ 応援体制等、市との連携体制が不十分であった

Q2 都保健所から「提供して欲しかった情報」

①第1波から第5波における主な回答 (有：23市町村 無：14市町村)

- 感染者・自宅療養者の情報 (11)
＜氏名、年齢、性別、住所（居住地）、支援者、発症日、重症化リスク、家族構成、妊婦＞
- 市町村毎の感染者数、死亡者数、重症者数 (5)
- 圏域内の感染状況の傾向の分析結果 (1)
- 東京都・保健所の対応状況、対応方針 (2)
- 住民対応のQ&A (2)
- 感染予防対策など住民に周知すべき情報 (1)
- 受診や検査が可能な医療機関や検査場所 (2)

②第6波から第7波における主な回答 (有：14市町村 無：23市町村)

- 感染者・自宅療養者の情報 (5)
＜支援者、重症化リスク、重症度、妊婦、入院、死亡、フォローアップ実施機関、連絡が取れているかどうか＞
- 圏域内の感染状況の傾向の分析結果 (5)
- 東京都・保健所の対応状況、対応方針 (5)
- 住民対応のQ&A (2)
- 受診や検査が可能な医療機関や検査場所 (3)

Q3 市町村で実施した支援策（ワクチン接種以外）について（内容、対象者など）（第1波から第5波）

①主な回答（有：33市町村 無：4市町村）

○自宅療養者対応（28）

【主な支援策】

- 食料品の支援
- 日用品・衛生用品の支援
- パルスオキシメーターの貸与
- 安否確認・療養者宅訪問
- 買い物代行

○医療機関・社会福祉施設対応（13）

【主な支援策】

- 医師会・医療機関への補助
- PCR検査・検査費用助成
- PCR検査センター開設
- 医療機関、社会福祉施設等へのマスク、防護服、消毒液等の感染症対策物品の配布

Q3 市町村で実施した支援策（ワクチン接種以外）について（内容、対象者など）（第6波から第7波）

②主な回答（有：36市町村 無：1市町村）

○自宅療養者対応（28）

【主な支援策】

- 食料品の支援
- 日用品・衛生用品の支援
- パルスオキシメーターの貸与
- 安否確認・療養者宅訪問
- 買い物代行

○医療機関・社会福祉施設対応（15）

【主な支援策】

- 医師会・医療機関への補助
- PCR検査・検査費用助成
- PCR検査センター開設
- 医療機関、社会福祉施設等へのマスク、防護服、消毒液等の感染症対策物品の配布
- 抗原検査キット配布

Q4 貴市町村が支援策を実施する（した）うえでの課題

①第1波から第5波における主な回答（有：29市町村 無：8市町村）

- 支援にあたるマンパワーが不足（9）
- 大規模な病院等の医療資源等が乏しく支援に限界（6）
- 市町村内に発熱外来、検査対応が可能な医療機関が少なく、案内に苦慮（3）
- 自宅療養者の個人情報など都からの情報提供が不十分（4）

②第6波から第7波における主な回答（有：29市町村 無：8市町村）

- 支援にあたるマンパワーが不足（8）
- 市町村の職員の感染症に対する知識・経験が十分でなく対応に限界があった（1）
- 大規模な病院等の医療資源等が乏しく支援に限界（6）
- 都と連携して支援策に取り組むにあたっての都からの情報提供が不十分（3）
- 同じ保健所管内で自治体によって支援にバラつきが出たこと（2）
- 市町村の自宅療養者支援は都を補填する目的で実施、本来都が体制を整え実施すべき（2）

Q5 都保健所の感染症以外の日常業務（食品・環境衛生監視、精神保健・難病対策等）で「課題と感じていること」（第1波から第5波）

①主な回答（有：20市町村 無：17市町村）

○市町村保健師に対する指導・助言等支援の充実（9）

- ・ 精神保健のケースを共有する機会が少なくなり、市のみで動かざるを得ないケースが増加
- ・ 困難事例に対するスーパーバイズを受けられる体制整備
- ・ 精神保健分野における個別事例が複雑・困難化しており、事例の見立てや個別事例の対応等への支援

○市町村保健師に対する専門研修の充実（3）

- ・ 保健師に対する専門研修の充実（実際の市民対応に還元できる内容の研修）
- ・ 精神保健活動に関する研修等の充実

○感染症以外の専門相談等への対応（6）

- ・ 感染症以外の活動があまり見えづらくなり、どのように市をバックアップしてくれるのかがわかりづらくなった
- ・ 医療・保健分野等の専門的な相談ができない状況となった

○その他（7）

- ・ 災害時、各市に対する指導及び支援の具体的内容の提示
- ・ 広域での医療機関や相談機関などの情報を取りまとめて欲しい
- ・ 保健センターに配属される事務職向けの研修等の充実

Q5 都保健所の感染症以外の日常業務（食品・環境衛生監視、精神保健・難病対策等）で「課題と感じていること」（第6波から第7波）

②主な回答（有：21市町村 無：16市町村）

○市町村保健師に対する指導・助言等支援の充実（7）

- ・ 精神保健のケースを共有する機会が少なくなり、市のみで動かざるを得ないケースが増加
- ・ 困難事例に対するスーパーバイズを受けられる体制整備
- ・ 精神保健分野における個別事例が複雑・困難化しており、事例の見立てや個別事例の対応等への支援

○市町村保健師に対する専門研修の充実（4）

- ・ 保健師に対する専門研修の充実（実際の市民対応に還元できる内容の研修）
- ・ 精神保健活動に関する研修等の充実

○感染症以外の専門相談等への対応（6）

- ・ 感染症以外の活動が見えづらくなり、どのように市をバックアップしてくれるのかがわかりづらくなった
- ・ 医療・保健分野等の専門的な相談ができない状況となった

○その他（6）

- ・ 災害時、各市に対する指導及び支援の具体的内容の提示
- ・ 人工呼吸器の方の災害時個別支援計画の作成について、支援者間での計画の共有などに工夫が必要
- ・ 広域での医療機関や相談機関などの情報を取りまとめて欲しい
- ・ 保健センターに配属される事務職向けの研修等の充実
- ・ 栄養士に対する専門研修の充実